

日本庭園便り

## ハーマンパーク日本庭園 4年ぶりの日本人庭師来米

当商工会では、毎年、寄付及び清掃作業ボランティアへの協力により日本庭園を支援しています。(編集部)

ヒューストンのメディカルセンターの隣に広がるハーマンパーク。ゴルフ場や動物園もあるので、1度は訪れたことがあるのではないのでしょうか。その一角にある日本庭園は、日米の均等負担で建設が進められ、1992年に完工、開園され、昨年30周年を迎えました。

開園後、日本庭園の整備と設計の資格者の関与が無くなると、次第に日本庭園の風格が失われていったため、日本人コミュニティが参加して、2007年に日本庭園改修プロジェクトが始まりました。今ではハーマンパークの民間管理団体であるHermann Park Conservancyの中にJapanese Garden Advisory Committeeが設置され、日系諸団体の代表がメンバーとして参加、活躍しています。2019年までの12年間に取り組んで来た日本庭園の改修工事については、これまでもゴルフ誌上で度々報告してきましたが、2020年の3月ころからコロナウイルスによるパンデミックにより、世界が寸断されたことは周知のとおりです。日本人庭師(以下Japan Team)は、それまで毎年2月にヒューストンを訪れ、日本庭園の手入れと現地職員への手入れ指導を行っていましたが、2020年以後、渡米できなくなりました。

昨年夏ころから、アメリカではコロナ関連の規制が緩和されましたが、日本に帰ってからの隔離期間が不要になる(ワクチン3回接種済の条件あり)まで、Japan Teamは渡米を見合わせていました。その間、日本庭園は現地の庭師や担



▲【左】:後ろのサルスベリが鬱蒼としている剪定前。【右】:剪定後、画面左の後ろの建物が枝の間から透けて見える。



▲【左】伸び放題になっている藤棚(剪定前)。【右】すっきりと剪定された藤棚。



▲枯山水の丸石を、動かないように固定。



▲これから草木を植える場所に印をした。

当職員によって手入れがされてきましたが、職員の交代もあり、理想的な樹木の刈込の状態から離れてしまいました。また、この事態を打開するために、アメリカ国内で日本庭園の手入れができる人を探すという案も浮上し、フォートワース在住のフォートワースの日本庭園を管理する経験者 John Powell氏に白羽の矢が立ちました。Powell氏は、日本で日本庭園の修行(新潟の鈴木造園、島根県の足立美術館でインターンシップ)を積み、全米日本庭園協会を通じアメリカ全土で日本庭園に関する講演や実演を行っています。

資格者の手を離れたことによる日本庭園の喪失の反省と、Japan Teamの招致へとつながった経緯から、ここでアメリカ現地在住の庭師を招へいすることに対して、慎重な議論が会議の中で交わされていましたが、昨年9月、日本の水際措置が大幅に緩和されたことで、今年2月、4年ぶりにJapan Teamの来米が叶い、現地在住と日本から派遣された庭師のコラボレーションによる庭の手入れと今後の整備計画について議論されました。コロナ禍を期に、今後の管理運営について岐路に立たされた日本庭園ですが、今回の一行による作業は、事前の入念な準備に沿って進められ、ほぼ予定通り終えることができました。

今年のJapan Teamの滞在は、2月17日から3月7日まで。今回は天気にも恵まれ、紅梅が終わり、ツツジやオカメ桜が咲き始めた端境期の日本庭園での大胆な刈込作業が連日続きました。はじめに手がけたのは、四阿(あずまや)周辺の黒松の剪定です。好き勝手な方向に伸び放題になっていた松を、見栄えよく刈り込みました。園内の黒松は15、16本に増えていますが、その剪定は日本人庭師にしかできません。ただ切るだけではなく、どの様な形に伸ばしていくかを考えながら作業をするわけで、来年につなげる仕事です。

錦鯉のいる池のほとりのフジは、庭師たちがフジ棚に上り、伸び過ぎた蔓の葉先を切り花蕾の蔓を残しました。こうすることによって、全体に日がよく当たり、葉の茂り、花の開花もスムーズに進みます。3月後半にはツツジとともに満開になりそうです。それから、長屋門付近の樹木について、剪定見本を作り、刈り込み方を指導し、残りを現地の庭師に託しました。(P2へ続く)

目次	1…ハーマンパーク日本庭園	4…ソフトボール大会	7…水口ケツト	10…テキサスメディカル
	2…日本庭園続き・会社紹介	5…古本市・駐妻日記	8…卒園・卒業式・スピーチコンテスト	11…ジャパンフェスティバル告知・懇親会・議事録
	3…愛すべきテキサス音楽(その1)	6…あそぼーかい・三水会クラブ	9…コスタリカ	12…知つとん・Houston Walker・編集後記